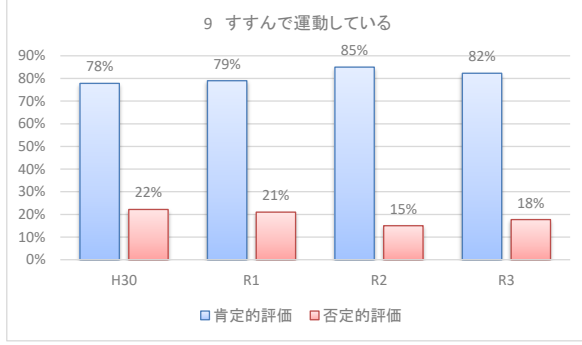
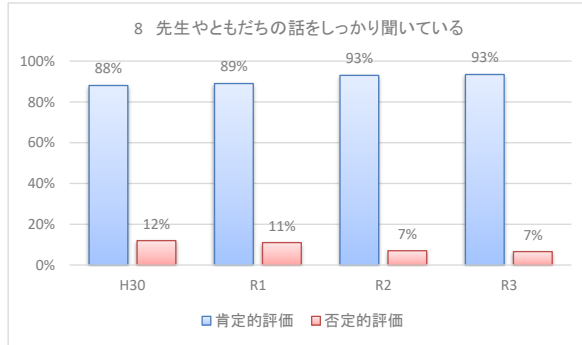
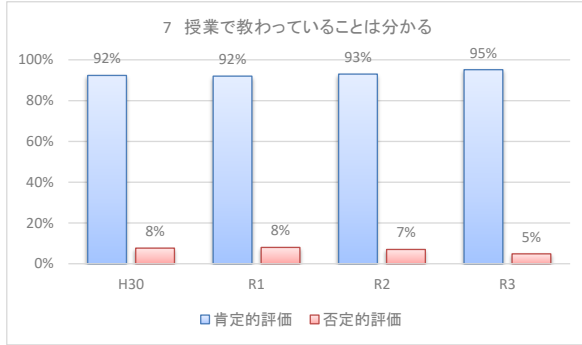
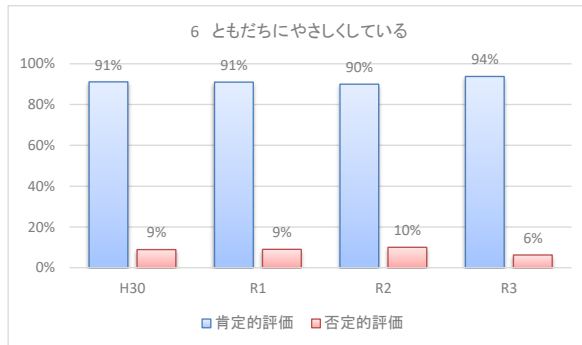
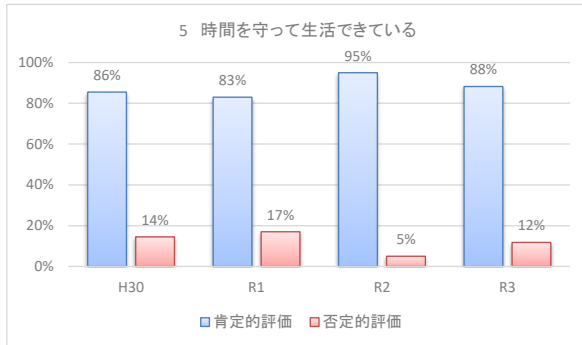
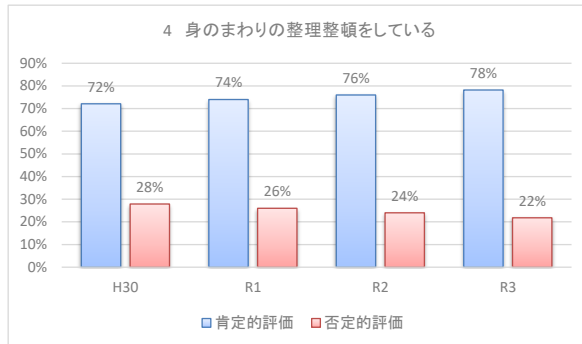
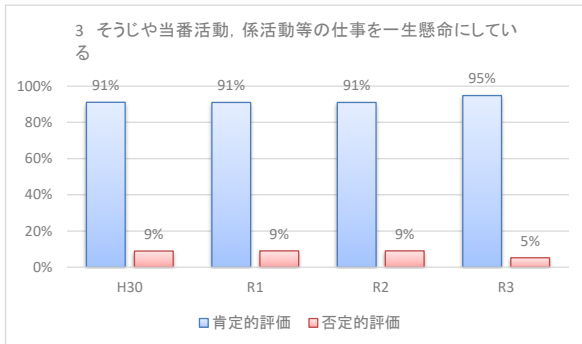
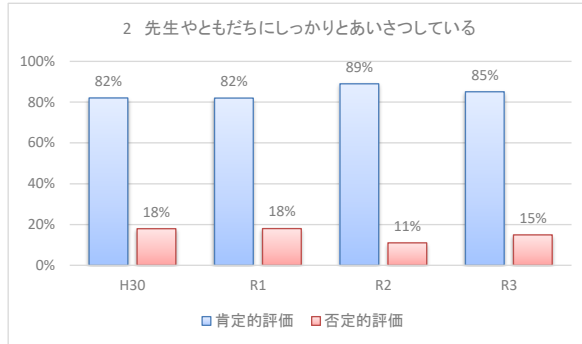
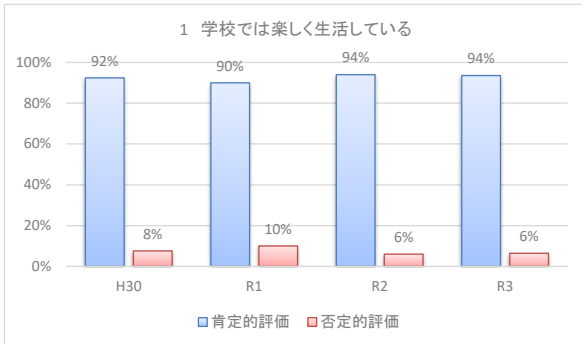


平成30年度～令和3年度 児童 学校生活アンケート 肯定的(A・B)・否定的(C・D)回答別 経年比較 20220118



【考察】

◇1「学校生活」、3「勤労奉仕」、6「豊かな心」、7「学習理解」、8「話を聞く」については肯定的評価の回答が90%以上の高水準を保っている。
 一方で、7「学習理解」を除く4つの項目について「まったくそう思わない」と回答した児童がわずかながらいることについて、再度認識するとともに、引き続き情報共有を図りながら、児童へのきめ細やかな対応を進めていかなければならない。
 ◇4「整理整頓」については今年度も改善がみられてはいるが、2「あいさつ」、5「時間を守る」等の生活指導上の重点項目については、今後も引き続き課題と捉え、改善を図る。

◇7「学習」については昨年度からさらに向上しつつ、保護者の回答とともに90%以上が肯定的評価であるが、習得状況が十分でない児童に対する補足的な学習、習熟度別指導の充実を今後も図っていく。
 ◇9「体力向上」については、昨年度に続き80%を上回ったものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、運動に親しむ機会が十分に確保されていない状況であること。体力テストの結果からも、さらに、体育授業の充実、運動の日常化等を意図的・計画的に進めていく必要がある。